

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	行動経営学 II（THB113）	配当学年	1
講義名（コード）	行動経営学 II（THB113）	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネス	講義期間	秋
専攻		履修区分	必修
授業担当者	居山	授業形態	講義
成績評価教員	居山	実務者教員	はい
実務者教員特記欄	本授業は関連業界で職業経験ある講師にて実施される。		

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	DXの持つ市場価値を認識する入り口として、新規事業や新製品の開発を成功させるためのプロセスを「デザイン思考」の手法に則って学ぶ。そのうえで学生のアイデアを新製品のプロトタイプとして作成してみる。
到達目標	「デザイン思考」の基本を理解したうえで、各自の新規事業、新製品アイデアのプロトタイプを作成する。
全体の内容と概要	「デザイン思考」の考え方を習得するためにworkshop中心の授業を行う。後半には3D Printerを利用してプロトタイプを作成する。
授業時間外の学修	自分なりの新規事業もしくは新製品の構想を考える
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画			
		講師	授業内容
1	2023/4/19	染谷先生	・オリエンテーション（本授業の概要） ・デザイン思考とは？デザイン思考が注目される背景 ・Customer Needs（潜在ニーズ／顕在ニーズ）を掘り下げる ・人間中心の発想事例からみるCustomer Experienceの重要性 ・Case Studies
2	2023/4/26	染谷先生	・課題の共有 ・人間中心の体験をデザインするうえで大切なこと（内面の探索） ・顧客ニーズ探索のためのコミュニケーションスキル（傾聴＆質問） ・Case Studies
3	2023/5/3	GW休日 休講 課題	・行動経営学 ケーススタディ①
4	2023/5/10	染谷先生	・デザイン思考を支える5つのマインドセット ・製品の開発ストーリーからマインドセットとプロセスを考える ・デザイン思考ワークショップの動画から気づきを得る ・Case Studies
5	2023/5/16	Future Spiral 山原 様	・ハياسとアイデア創出法 ・オズボーンのチェックリストを活用しアイデア出し ・プロトタイピングで実際に形にする ・Case Studies
6	2023/5/16	Future Spiral 山原 様 (5/24 健康診断のため授業なし)	・行動経営学 ケーススタディ②
7	2023/5/31	三森先生	・デジタル産業と技術 ケーススタディ ・概要：技術と応用
8	2023/5/31	三森先生 Stratasys Showroom	・世界の事例とデモ ・Case Studies
9	2023/6/14	北先生	・アート思考とデジタル産業 ・アート思考とイノベーション ・Case Studies
10	2023/6/21	北先生 染谷先生	・行動経営学 ケーススタディ③
11	2023/6/28	(株)メンバーズ 高見沢様	・Project Work 1
12	2023/7/5	(株)メンバーズ 高見沢様	・Project Work 2
13	2023/7/12	(株)メンバーズ 高見沢様	・Project Work 3
14	2023/7/19	(株)メンバーズ 高見沢様	・Project 発表
15	2023/7/26	染谷先生	・前期振り返り ・前期課題取り組み

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	Tim Brown "Change by Design"
備考	